

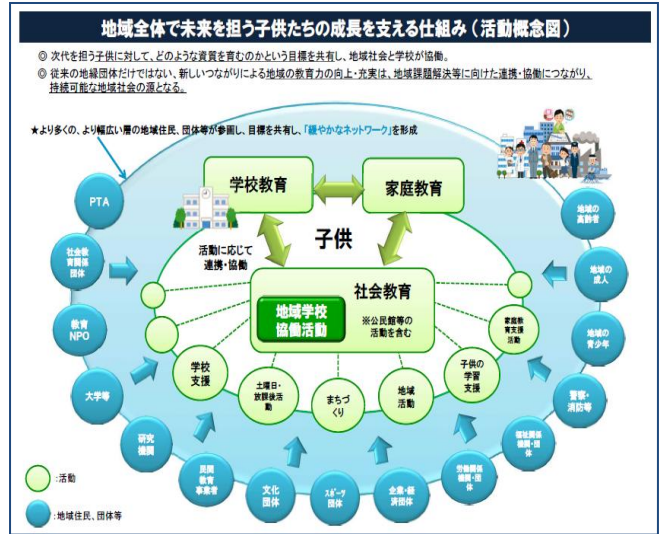


家庭・学校・地域の協働で育む！

社会教育法一部改正（H29.4.1）により、話題となっている「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、連携・協働して行う様々な活動です。

地域が学校・子供たちを応援・支援するという一方向の関係だけではなく、子供の成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働します。互いに膝を突き合わせて、意見を出し合い、学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深めることにより、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」の推進が期待されています。

今回は、家庭・学校・地域の協働により、未来を担う子供の成長を支える各学校や市の取組を紹介します。



岐阜市立藍川小学校

7月14日(金) 12:00～

「学校レストラン あいかわDEらんち」



運営者の願い

藍川小学校給食室が本年度末で廃止される(藍川北中学校共同調理場になる)ので、藍川小給食室で調理されるおいしい給食を地域の皆様にも味わっていただきたい。

「藍川校区小中一貫コミュニティ・スクール」をはじめめるにあたり、小中学校の保護者だけでなく地域住民も招き、説明会を開いています。H25年度末学校・保護者・地域住民が知恵を出し合い“協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支えていく”地域とともにある学校づくりをするからです。

本年は、小中一貫教育の新たな歩みとして、小中合同広報『わかあゆ』(右)が発行されました。



また、中学校との共同調理場になるので、地域の皆様にも食べていただきたいとの願いで実施されたのが、『学校レストラン あいかわDEらんち』です。

年間12回、12時から、1食250円、定員30名で、地域のすべての方に回覧されました。参加申込は、学校と公民館で受付をしました。

2回目のこの日、老若男女さまざまな方々が参加されました。食後の過ごし方は自由です。コミュニケーションの場とする、昼休みの子どもたちの様子を見る、図書室で読書を楽しむ、子どもたちと一緒に掃除をする等。

合言葉「藍川大家族」(学校が家族の一員になる、助け合う)のとおり、家庭・学校・地域の協働による子育てや地域づくりの心地よいひとときでした。

<参加者の感想>

- ◇味付けもよく、とてもおいしかった。満足！
子ども向けだけでなく、私たちにもぴったり。
- ◇どれも大好きなものだった。とびっきり美しくなるライチゼリーを食べたから、美しくなれそうだ。
- ◇冬瓜スープもホキのからめ合せも美味しかった。
- ◇前回の鮎は、特別な意味合いがあり、感動した。
今回の中華も食べやすく幸せであった。他の人が参加できるように、申込を辞退してもいい。

家庭教育学級の年間

- ①開講式、講話（音楽を楽しむひととき）
- ②♥夏休み親子クッキング
- ③第5ブロック合同講演会
- ④人権講座（家庭・学校・地域みんなで人権を学ぶ）
- ⑤閉講式、講話（中谷校長先生を囲んで）

岐阜市立且格小学校

日置江夏祭り 碧江灯籠まつり 8月5日(土)

「ひろがる! つながる! ふるさと日置江」



<参加者の感想>

子：楽しみは盆踊りと先生たちのおもちゃブース。
 子：あー！踊って疲れたけど、すごく楽しかった！
 親：今年初めて参加した。夏休み中に皆に会えるし、多くの灯籠も屋台もあって素晴らしい。
 住民：夏の楽しみ。賑やかで活気があって大切な場。
 住民：伝統を引き継いで、毎年盛大にやってもらえるのでありがたい。皆が集う日置江の宝物だ！

家庭教育学級の年間

①人権講話 ②碧江灯籠祭り ③太鼓鑑賞(総合学園) ④4ブロック研修 ⑤カーデ作り
 ♥「わが家の約束宣言」ほめ合い、絆を深める

運営者の願い

- ・日置江の伝統的な盆踊りに諸団体が協力して夏祭りを開催し、年齢をこえて楽しく集い、地域住民の連帯意識を高める。(地域)
- ・灯籠に描いた夢や願いから、日置江の人々の思いを感じ取り、それらを大切に育てようとする心や態度を育てる。(地域・学校)
- ・地域興しの行事に参加し日置江の人々とふれあうことで、地域に育つ一人としてよりよく生きていこうとする意欲を育てる。(学校)

まちづくり協議会主催で、自治会・公民館・体育振興会・スポーツ少年団・青少年育成市民会議・小学校(児童・職員)・PTA・自治会婦人部・子ども会・老人クラブ・交通安全協会が協働しています。

会場の灯籠約400個には、願いが記されています。

「ゆかた着て まつりに行けば にぎやかに」
 「大きくなったら 一級けんちくしになりたい」
 「えがおいっぱいのひきえて いてほしいです」
 「日置江は みんなのやさしさで できている」

中学生ボランティア(31名)の進行のもと、屋台の開設、灯籠の鑑賞、太鼓演奏、盆踊りを通して、参加者約700名が地域の連帯と家族の絆を深めました。

みんなで「5.4.3.2.1点灯!」と唱和。薄明かりに絵も文字も映えて夏祭りの風情。やがて、ジェンカや春駒に合わせて人の輪が広がり、地域の心の輪も広がり「広がる! つながる! ふるさと日置江」の実現です。

岐阜市立白山小学校

白山盆踊り 8月19日(土)

「育てよう豊かな心 楽しもう笑顔の子育て」



<参加者の感想>

子：台の上で浴衣を着て踊って楽しかった。
 子：インリーダーで練習し、入賞できたから嬉しい。
 親：小学校の運動場で、毎年夏休み中にみんなに会って話して食べられるなんて! 嬉しい! 大満足!
 住民：近くに住んでいるが、毎年、こうして盆踊りの雰囲気を楽しむことができるので嬉しい。
 住民：家族(三世代)で参加。いろいろな人に会えるし、食べ物も多いので楽しくて笑顔になる。
 婦人部：80歳を超える人もいるが、みんなが喜んで買い、美味しいと言ってくれるので頑張れる。

運営者の願い

校区の各種団体と協働して開催する白山盆踊りにPTAの模擬店を出店し、地域の人と共に豊かな心を育て、笑顔の子育てを楽しむことができるようにする。

家庭教育学級の年間計画

①開講式 ②救急救命法講習会 ③白山盆踊りに協力 ④人権落語 ⑤白山ふれあい広場に協力 ⑥閉講式
 ♥「夏休みのわが家の約束」実施

自治会連合会主催で白山盆踊り実行委員会が企画運営。自治会・青少年育成市民会議・体育振興会・子ども会・スポーツ少年団・消防団・PTA・交通安全協会・中学生ボランティア等が協働しています。

子どもが笑顔になり、子育て世代も地域住民も子どもの成長を実感できる場にしたいと語られる自治会長さん。

玩具・かき氷・焼きそば・ポテト等全て100円券で購入できます。PTAは、光る玩具担当。剣・キャラクター・ヨーヨー等800個以上を仕入れても売切れるそうです。

盆踊りコンテストの子ども部門では、ゼッケンを付けた浴衣姿の子どもが、「アンパンマン音頭」「お魚天国」を元気に踊りました。1年生が一位に輝きました。

約700名の参加者の笑顔が印象的でした。食べ物や玩具を片手に一緒に語り遊び、踊りに興じつつ、みんなに見守られ育まれている温かい雰囲気、素敵な白山でした。

川島 ライフデザインセンター

夏休み講座 8月1日(火)

「防災センターに行こう！ ～濃煙迷路・地震体験～」

場所：岐阜県広域防災センター（川島小網町）
講師：防災センター職員 渡辺志朗氏 渡邊幸衛氏



<参加者の感想>

子：震度7の体験は、縦横にすごい勢いで飛ばされそうだった。突然起きたらと思うと怖かった。
親：濃煙体験は、煙で喉が苦しく、真っ暗でパニックなりかけたし、足がすくんだ。
子：消火器の使い方が分かってよかった。
親：地震を体験してみるということの重要性を今実感している。もしものために、もっと備蓄をしておきたい。懐中電灯も近くに置きたい。

運営者の願い

濃煙迷路体験、震度7の地震体験、消火器体験、新聞紙スリッパ作りなどを通して、防災に対する知識を深め、災害から命を守ることにについて考えてほしい。

“学ぶ”の「防災センターへ行こう！」講座には、1～6年生の男女30人と保護者14人が参加しました。

まず、濃煙迷路体験、震度7の地震体験、消火器体験をしました。広域防災センターですから、体験用の施設が整っています。特に、震度7の縦揺れや横揺れは、その力の凄さと抗う事の出来ない現実を体験しました。岐阜県では、50年ほど起きていないので、自らの命を守るために家族で話し合っ準備をすることが大切です。

【備蓄6つのポイント】①食べ慣れたもの ②非常食+飲み物 ③水は1人1日3リットル ④野菜や果物の加工品 ⑤熱源の確保 ⑥決まった日に食べ、買い置く

【簡易トイレ作り】バケツ+ポリ袋+新聞紙

【新聞紙スリッパ作り】新聞紙1枚で1個×2（左上写真）

各務原市と地域施設の協働により、子どもたちの成長を支えていただいています。

「らららマガジン」の編集！

各務原市では、夏休み期間に開催される小学生対象講座をまとめた「らららマガジン」を編集・発行しています。

“作る、音楽、学ぶ、自然、運動、料理”の108講座が紹介されています。タイトルや低学年マーク等、子ども編集部員が考えました。来年度も子ども編集部員によって作成されます。

地域・家庭・学校の連携による教育力向上研究大会

平成29年8月17日(木) 会場：糸貫ぬくもりの里

★講演『地域社会と学校の連携と協働』
岐阜大学地域協学センター長 大学院教育学研究科教授 益川 浩一 氏

- ◎「双方向的な関わり合い」「双方のメリット」のある連携・協働体制として「地域学校協働本部」をめざしていく。
- ◎連携・協働は、目的でなく“手段”。ないものねだりでなく“あるものいかし”こそが重要である。
- ◎家庭教育支援、地域・NPO活動への参画、企業・事業所との連携で、子どもの総合的な育ちにかかわる。

事例1 ◆各務原市
『地域未来塾「かかみがはら寺子屋事業」の実践』

- 小学校放課後学習室 444日
 - ららら学習室(中学生)40回
 - 福祉体験学習 2コース
 - ふるさと歴史発見事業
 - ものづくり見学事業
 - レッツ・トライ・イングリッシュ
- 全ての子どもの基礎学力・生き抜く力・能力伸長のために、地域(人・もの)を生かし、出合いの機会を提供している。

事例2 ◆岐南町
『土曜日の教育活動「Gさうす」の実践』

- ふれあいまなびすと(小学生向け、13講座)
 - 星を観る会、わら細工等
 - あそびすと+ (大学生によるレク・プリント学習)
- 公民館講座の講師や長期型人材養成講座で育った人が、地域講師として子どもを育む。さまざまな年齢層、学校・地域・行政の協働で教育活動を実施。

後半は、小集団交流(5～6人)でした。テーマは「各市町の子育てにおいて、地域・家庭と学校が連携して取り組んでいけそうなこと」です。

自分の市町の自慢話、連携の成果として継続したいこと、課題や問題を踏まえた上で、今後への方向付けをしました。「若きリーダーとして青年団を育てたい」「企画から参画してもらい見える化の活動を仕組む」「地域住民や子どもにとって、拠り所となる催しをもちたい」「フェイスブック等を活用し年齢関係なく集うとよい」等の積極的な意見交流ができました。地域学校協働活動推進員のイメージもできる交流となりました。



各務原市立稲羽東小学校

講話+体験+サロン+行事 7月13日(木)

「給食試食会・交流会」

講師：栄養職員 舩(みかづき) 美香代 氏



ささみのレモンソースか
は、切干大根サラダ、冬瓜
のスープ、食パン、牛乳

<保護者の感想>

- ◇舩先生の話がとても分かりやすかった。給食センターでの衛生管理の様子を知り驚いた。家庭でも食中毒に気をつけたい。
- ◇ささみのレモンソースがけもおおいしかったが、切干大根がサラダでこんなにおいしくなるのに感激した。ぜひ、家でも試してみたい。
- ◇保護者同士で話をしながら給食を食べることができてよかった。試食時の「ゴーヤ」メニューの色々が参考になった。レシピをお願いした。

運営者の願い

栄養士さんによる講話と給食試食会により、学校給食についての理解を深めるとともに、学校のお茶(矢熊茶)を飲みながら保護者同士の交流を深めてほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①茶摘み ②講話と給食試食会(サロン型)
- ③リフレッシュ体操 ♡各務原市の「ボランティア手帳」を活用して年間50回を達成し、絆を深める

この日は、講話+試食会+給食参観+交流会(サロン型)+授業参観で、参加しやすくした日程でした。

学校給食は、7つの目標をもって献立作成がされています。①適切な栄養 ②望ましい食習慣 ③明るい社交性・共同の精神 ④生命・自然の尊重、環境保全 ⑤勤労を重んずる態度 ⑥伝統的な食文化 ⑦地産・地消

献立は1日の栄養摂取基準量の三分の一を目安に、カルシウム・食物繊維を多く摂取できるよう考えられ、地元の人参・冬瓜・十六ささげ等を使用しています。

「持ち込まない、つけない、やっつける、増やさない」4原則での安全な給食作りを映像で学びました。

試食時はもちろん、その後、サロン型での交流会がありました。学校の生け垣の茶を摘んで作られた「矢熊茶」を飲みながら、子どもの話題等で会話が弾みました。

瑞穂市立生津小学校

体験活動参加型(+サロン型) 8月9日(水)

「親子料理教室」 ~簡単・便利でヘルシーなお惣料理~

講師：クッキングデザイナー 管理栄養士 馬場 美穂 氏



<参加者の感想>

- 子：家ではほとんどやっていないが、野菜や惣を切るのは楽しかった。家でもやってみたい。
- 子：お母さんとナスと一緒に切ったことが心に残っている。最後まで全部やり切れてよかった。
- 親：親子で協力し合って作るのが楽しかった。包丁の使い方を教えるよい機会になった。
- 親：車惣入りドライカレーは辛くなく、子どもでもおいしく食べることができてよかった。
- 親：お惣アイスの家でもすぐ作れるので試したいし、夏バテ防止にお惣料理に挑戦していきたい。

運営者の願い

夏野菜を一杯使った簡単・便利でヘルシーなお惣料理に親子で挑戦することで、料理のおもしろさを感じるとともに親子の会話を楽しんでほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①校長先生講話・茶話会 ②親子料理教室(午前・午後)
- ③④給食センター見学・試食会 ⑤しめ縄リース作り
- ⑥ヨガ教室 ♡「レッツ チャレンジ！」(夏休み中)

<メニュー> ①車惣の夏野菜ドライカレー
②マヨベッパー惣 ③惣とトマトのスープ
④夏野菜のオニオンドレッシングサラダ
⑤黒糖菓子アイス

<材料> ・車惣 おつゆ惣 黒糖菓子
・玉ねぎ、ナス、人参、ピーマン、トマト、
きゅうり、かぼちゃ、レタス、にんにく、
生姜、合びき肉、マヨネーズ、カレー粉 他

この日、17組の親子42人が、お惣料理に挑戦しました。5品を作るために、実に多くの夏野菜をみじん切り・ざく切り・薄切りにし、炒めて煮込みました。

「添える手は猫の手にして、小さく切ってね。うまいよ。」
「使わない時、包丁の刃を向こう側にむけて置くよ。」
「いい調子！お肉の色が変わったら、野菜を入れてね。」
「お惣の切り口がまっすぐだね。上手だよ。」
「味見する？ 胡椒は前に回して。そうそう、いい感じ。」
教え上手でほめ上手なお母さん方。にこっと笑みを浮かべ、誇らしげな様子の子どもたち。

自分達で作ったお料理は、美味しくて、野菜ばかりが並んでいるけれども、パクパクと頬張っていました。

午後はお惣デザート6品。親子で料理を楽しみました。